

# 草の根

## 第42回

No. 20

新日本婦人の会 浜松支部  
〒430-0907  
浜松市中区上島3-33-6  
TEL&fax 464-9881

### 声をあげ、生きづらい社会を変える！安倍9条改憲ストップ、ジェンダー平等と持続可能な世界を創立60年へ新婦人大きく

#### 第30回全国大会めざす仲間づくり 親子ばと賞達成者・達成班

○、平和の2署名  
(9条改憲NO!緊急署名と核兵器禁止条約批准署名をそれぞれ10人以上集め、会員を増やした会員)

- 可美班 植田信子さん
- 神無月班 鈴木美智子さん
- 田中力子さん
- ほほえみ班 長谷川百合子さん
- あざれあ班 竹山富子さん
- しあわせ班 布施晴美さん

○、目標をもち、達成した班

- まつぼっくり班 (会員8人から11人  
しんぶん0から1部)



信じる！ 後に続く力

あけましておめでとうございます。

2021年はコロナ禍、オリ・パラ開催、そして総選挙とあわただしく過ぎ、「怒り」「どよめき」「落胆」「希望」と私の心も散々に乱れました。

今年、新婦人は創立60年を迎えます。そして7月には参議院選挙があります。

自民党・公明党・維新の党が3分の2以上の議席を確保すると憲法改正の発議ができるようになります。平和で豊かで美しい、そして可愛いものたちをこわす憲法改悪を許さず、今ある憲法を文字通り実行させて、すべての人たちが安心して、笑って暮らせる世の中にしてほしいものです。

わたしたちの願いを政策に反映できるように仲間の輪を大きく広げていきましょう！

2022年も小さな力、知恵を寄せ合って前に進んでまいりましょう。

新日本婦人の会浜松支部長 加藤悦子



#### 第2回班長会(12/18)が開かれました。

全国大会を迎えるにあたり班長会を開催しました。それぞれの班の状況を語り、交流しました。参加報告を掲載します。

#### 浜松支部 班長交流会に参加してきました

しあわせ班 浅野千枝子

開会は加藤支部長が、新日本婦人の会第30回全国大会を迎えるにあたり、新しい仲間づくりキャンペーンに浜松でも応えていきたいと挨拶。

布施事務局長から、支部の状況は29回大会比33名減であり、30回大会目標達成には60名の増が必要です。支部37班は、年々高齢化する会員、病気や身体能力低下での行動の制限が出てきています。私たちは子ども医療費・エアコン設置、改憲反対の声を上げ、水やごみ問題など暮らしに直結した要求活動等にとりくんで来ました。

次世代に運動のバトンをつないで、仲間を増やすためには実情や思いを語り合い進めていきたい。途中で感極まって涙ぐむ場面もありました。

15班・21人の参加者は、班会の開催に苦慮している、高齢となって動けない、コロナで感染が心配とリズム活動が出来ていない。役割が集中する。家族の介護…等々です。そんな中、班会に出れば仲間の近況がわかる、おしゃべりができ楽しく元気が出る、新聞の読み合わせや、ヨガ・ちぎり絵等の小組活動。歩いて参加できる所や毎月はだめでも隔月開催している。ニュース発行は毎月22年続けている等会話が弾みました。

参加した皆さんからは、だから駄目でなくどうすれば？何をすれば？と、前を向いた本音が出ていました。

最後に布施さんから感謝と共に高齢化の中での工夫や、新婦人の役割が話されているか、日々のつながりは、仲間と一緒に行動しているか、壁は自分から作らないの思い。若い世代の班も作っていきたくと話されました。

私もこれから仲間づくり、しんぶん拡大に頑張っていきたいと思います。



『生命を生み出す母親は生命を育て生命を守ることをのぞみます』のスローガンで活動している「母親&働く女性部」を紹介します。

1954年3月1日ビキニ環礁でアメリカが行なった水爆実験により焼津でマグロ漁船第五福竜丸が被災。死の灰を浴びた久保山愛吉さんは、わずか半年後で、妻と3人の幼な子を残して亡くなりました。愛吉さんが残した言葉「核兵器で命を奪われるのは私を最後に」は妻すすさんや全国の母親・女性の声となり、平塚らいてうらの呼びかけで翌年6月第1回日本母親大会を開催。7月には世界母親大会がスイスで開かれ、表記「いのち」のスローガンを決め、以来全国へ母親運動が広がりました。浜松では1960年「浜松地区母親集会」がスタート、集まって学び行動する女性運動として、他団体と共にその時々をテーマに「母親大会」「国際女性デー」を取り組み、平和、生命、暮らしを守る活動を続けています。

しあわせ班 鈴木康予

私が浜松市母親大会参加連絡会と出会ったのは退職した年(1999年)からかと思えます。日本母親大会に参加したおかげで北海道をのぞき全国各地の文化、風土に触れるという有意義な時を送ることができました。日本大会も2019年の静岡大会後楽しみにしていた沖縄はリモートとなり今後どうなるか。私の日本大会参加は27回「あっ」と云うまでですネ。

## 部員の紹介

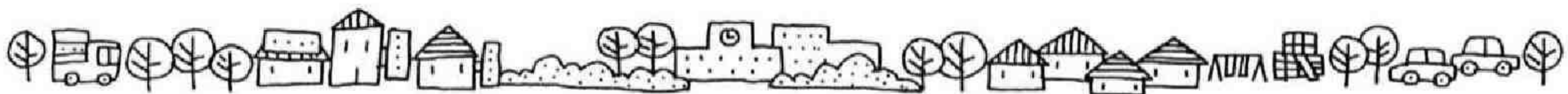
ほほえみ班 伊熊眞理子

子どもの通う保育園で、いつもお孫さんを送迎していたおばあちゃんからしんぶんをすすめられたのが新婦人を知るきっかけでした。その後地域の班に入れていただき、育児、くらし、教育など身近な話題や悩みを出し合い子ども連れて手芸も遊びもワイワイ楽しい時間を過ごしました。子育てで悩んでいた時、日本母親大会に誘われ、たくさんのアドバイスをもらって心が軽くなり、以来、母親運動と新婦人の仲間に支えられて今に至っています。

竹の子班 木俣えり子

20代のころから一参加者、要員などで、母親運動に関わってきました。ここ2年ほどは、母親連絡会に参加し県母親大会連絡会にも行くようになり、いろいろな経験をさせてもらっています。新型コロナウイルス感染拡大により県母親大会が延期となりましたが、翌年の大会開催では、全体会はリモートも使いながらの大会運営になり、分科会は各地域で別日に開催し、多くの方が大会運営に関わって成功しました。初めてのことはばかりでしたが、これからの開催に選択肢が増えたのではと思います。

この間、母親大会をはじめとした母親運動に、常に新婦人の仲間のパワーを感じられ、心強く思いました。コロナ禍がいつまで続くか予測がつかないですが、国際女性デー、県母親大会分科会・全体会と続きます。みなさんの力を借りながら、成功目指していきたいと思います。力不足を感じてくじけそうになる私ですが、これからもよろしくをお願いします。



## しまの花だより

すみれ班 近藤しま

昨年は思いがけず新聞に花の記事が掲載され新婦人にあこがれ、当時の平田の事務所に幼い長女を背に申込みに行ったことを思うと本当に光栄でした。あれからもう50年を迎えます。

私の「勝手流」の花は庭の雑草園と同じでありのままの自然任せです。家族からはあきれられています、私は本当に大事に楽しんでいるのですよ。

今、見頃は水仙、ろう梅、椿でしょうか。春の使者リュウキンカが咲きだしました。この輝く黄色は希望。元気をもらえますネ。

## これからの予定

- 1/30(日) 学校ゆるカフェ第9回 労働会館 10:00~  
ごみ有料化考える会宣伝行動  
12:00~ フィール小豆餅店前  
「マイナンバーカードが危ない？」  
13:30~ 地域情報センター他
- 2/4(金) 戦争をなくし平和な浜松をつくる会
- 2/9(水) 9の日行動 13:00~
- 2/11(金) ピースアクション 11:00~
- 2/19(土) 核サイン署名 13:00~  
19日行動 浜松駅前
- 2/24(木) 消費税行動 13:00~

## 事務局からのお願い

掃除機が壊れてしまいました。不要になった掃除機はありませんでしょうか。ありましたらいただけると助かります。



## レイラ化粧品のこだわり その1-環境への取り組みを紹介しませ-

2000年12月に環境マネジメントシステム国際規格ISO14001の認証を受け、事業活動のすべてに環境を守る立場を貫いてきました。2021年以降は自社で確立した環境マネジメントシステムを運用した自主管理に切り替え、さらに、SDGsやBCP(事業継続計画)などを積極的に採り入れたとりくみに発展させています。お客さまや協力会社のご理解もいただき、環境に配慮した製品づくりにつとめています。